

2020. 5. 31 聖霊降臨

皆様、こんにちは。

府中教会、アンドレアです。

皆様、聖霊降臨の祭日の喜びを申し上げます。

教会の典礼に導かれ、わたしたちが喜びをもって過ごしているこの復活節は、十字架上で死に、復活したイエスが「限りなくお与えになる」（ヨハネ3, 34）特別な聖霊の時であります。この恵みの時は聖霊降臨をもって締めくくられます。

ここで特に、わたしたちの中で聖霊は神の命の尽きることのない泉であるという事実を考えてみたいと思います。すべての時代と場所で人間は、満たされた素晴らしい、正しく善良な人生、死に脅かされることなく、その完全な実現まで成長し成熟し続ける人生を望んできました。人間は旅人のように人生の砂漠を横切りながら、光・愛・美しさ・平和への深い願望を癒す、生きた水、ほとぼしる新鮮な水を求めています。誰もがこれを求めているのです。イエスはこの生きた水をわたしたちに与えてくださいました。それは聖霊です。御父から発し、イエスがわたしたちの心に注いでくださる聖霊です。イエスは言います。「わたしが来たのは羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」（ヨハネ 10, 10）。

さて、ここで考えてみましょう。なぜこの水はわたしたちの渴きをこれほど深く癒すのでしょうか？わたしたちは、水は生きる上で必要なものだと知っています。水がなくては死んでしまいます。水は潤し、洗い、地を豊かにします。「生きた水」、復活の主の賜物である聖霊は、わたしたちの中にお住まいになり、わたしたちを清め、照らし、新たにし、愛である神の命に参与するようわたしたちを変容します。それゆえ、使徒パウロは、キリスト者の生活は聖霊に促されたものであり、それが結ぶ実は「愛、喜び、平和、寛容、親

切、善意、誠実、柔和、節制」(ガラテヤ5, 22-23) であると言っています。

聖霊はわたしたちを「神の御一人子の子たち」として神の命に導きます。

聖霊はわたしたちが神から子として愛され、また神を子として愛せること、神の恵みによってわたしたちがイエスのように神の子として生きられることを教えてくれます。だからこそ、生きた水、聖霊は我々の命を癒すのです。

わたしたちは聖霊に耳を傾けていますか？聖霊がわたしたちの心に話しかけるのです。聖霊は言います。神は愛です。神はいつもわたしたちを待っています。神は父であり、わたしたちを本当のお父さんのように愛してくださいます。わたしたちを本当に愛しておられるのです。聖霊が心に語りかけているのはこれだけなのです。聖霊に耳を傾けましょう。聖霊の声を聞き、この愛と憐れみと赦しの道を歩いていきましょう。

